

あの日进行。

上岡×マーラー！圧倒的な構築美で魅せる《悲劇的》！

上岡敏之

新日本フィルハーモニー交響楽団

マーラー

交響曲第6番

《悲劇的》Gustav Mahler:
Symphony No. 6 in A minor, 'Tragic'

2017.3.11[土] 18:00開演

料金[全席指定]

S¥7,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥~~売切~~

○トリオ割:1公演につき同時に3枚以上のお申込みで5%引き
○すみだ区割・すみだ学割あり

●2公演セット券

《3/11新日本フィル×3/13ベルリン・コンツェルトハウス管》
S席のみ¥16,200 =好評販売中=

[お申込み・お問合せ]

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン triphony.com

すみだトリフォニーホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分/すみだ北斎美術館より徒歩10分



エリアフ・インバル 指揮

ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

マーラー:交響曲第5番 嬰ハ短調

Gustav Mahler: Symphony No. 5 in C sharp minor

ワーグナー:楽劇《トリスタンとイゾルデ》より「前奏曲」と「イゾルデの愛の死」

Richard Wagner: Prelude and Liebestod from "Tristan und Isolde"

2017.3.13(月) 19:00開演

料金[全席指定]:S¥11,000 A¥9,000 B¥~~売切~~ C¥~~売切~~

上岡敏之「生きている方たちや未来がある方たちに向けてのメッセージにしたい」

2011年以降、3月11日は日本にとって大きな意味をもつ日付となった（もちろん東京大空襲があった3月10日も、墨田区および周辺地域にとっては記憶から消せない日である）。そこで人々は音楽に何を求めるのか、音楽と共にどういった時間を過ごして何を思うのか。

2017年3月11日、上岡敏之と新日本フィルハーモニー交響楽団が演奏するのは、グスタフ・マーラーの大曲である交響曲第6番「悲劇的」。1903年から1904年にかけて作られ、1906年にドイツのエッセンで初演された作品だ。若い頃からスコアは勉強していたものの、コンサートで指揮をしたのは3年前に2回（1プログラム）だけだという上岡。近年はクリスティアン・アルミンクやダニエル・ハーディングらと、マーラーの音楽語法を消化・蓄積してきた新日本フィル。2016年3月に上岡と新日本フィルによる交響曲第1番「巨人」を聴き、新しい時代が来たと確信した方もいらっしゃるだろう。それだけに大曲の第6番は、さらなる深化が期待できるのだ。

「マーラーは楽譜にもたくさんの指示があるし、音楽の流れがエキセントリックだし、正直なところ理解するまでにずいぶん時間がかかる作曲家だと思います。交響曲第6番も自分で指揮をしてみて、つかみどころのない難しい曲だなと感じました。たとえば第1楽章をどういっ

たテンポで始めるのかということすら迷ってしまいます。葬送行進曲にしては速すぎますし、力が強すぎると戦いへ行く感じになってしまう。第4楽章も、最初の数分間に性格の違った音楽がどんどん出てきて支離滅裂になっていきますし、仕事や家庭で溜まった不満が力強い叫びをあげているのかと思える部分もあります。ショスタコーヴィチのように、裏読みを始めるといくらでもできてしまうのがマーラーなのです。コンサートで聴く機会は少ないと思いますが、発見はいろいろあると思います」

マーラー自身の指揮で初演された頃より、この曲は「悲劇的」というニックネームで呼ばれていたようだが、戦争や災害などの悲劇を表現した音楽ではない。先入観を排し、聴き手それぞれが感じる「悲しみ」を音楽の中に見出すという聴き方もあるだろう。

「『悲劇的』はドイツ語で〈Tragische〉という言葉になりますが、ベートーヴェンの『運命』同様、ドイツでそう呼ばれることはまずありませんし、あまり言葉のイメージに引きずられないほうがいいでしょう。〈Tragische〉という言葉は日本語の〈悲劇的〉という印象と違い、実は『ちょっと悲しいね』というレヴェルの感情。むしろ〈Pathetisch（悲愴）〉のほうがよほど悲

劇的です。もしマーラーが〈Tragische〉という言葉にこだわっていたのなら、それは世界の悲劇ではなく彼自身の内面にある悲しみなのだと思います。仕事の現場にも家庭の中にも悩みが多かったでしょうし、そこから逃避して作曲に向かっていたような人だったのでしょう。交響曲第1番だって、言いたいことがあり過ぎて無理矢理に詰め込んだ結果、料金超過になっているような曲。《アダージェット》のように美しい楽章があり、ハッピーエンドで終わっているように聞こえる交響曲第5番も、やっぱりどこか裏読みをしたくなるような曲です。彼の音楽にはどこか別の顔があり、それを読み解く面白さがあるのだと思います」

上岡は、この『すみだ平和祈念コンサート』を、生きている方たちや未来がある方たちに向けてのメッセージにしたいという。

「自分にとってもオーケストラにとっても難しい曲ですし、皆さんがどう聴いてくれるか楽しみです。音楽は演奏者だけが作るものではなく、聴衆も含めたその空間があって完成されるものですから、お客様一人ひとりが音楽の一部になるのです」

2016年10月18日

インタビュー・文／オヤマダアツシ（音楽ライター）

上岡敏之「指揮」

Toshiyuki Kamioka, conductor

東京藝術大学で指揮、作曲、ピアノ、ヴァイオリンを学ぶ。ハンブルク音楽大学にてクラスパーター・サイベルに指揮を師事。ヘッセン州立歌劇場音楽総監督、北西ドイツ・

フィル首席指揮者、ザールランド州立歌劇場音楽総監督、ヴッパータール市立歌劇場インテンダント兼音楽総監督等を歴任。16年9月より新日本フィルの第4代音楽監督に就任。コペンハーゲン・フィル首席指揮者、ザールブリュッケン音楽大学指揮科正教授も務める。



新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic

1972年指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。すみだトリフォニーホールを本拠地に定期演奏会や地域に根ざした活動も特徴的。久石譲

との「新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ」は幅広い人気を集め、映画『崖の上のポニョ』等では管弦楽を担当。2016年9月より上岡敏之が第4代音楽監督に就任。

公式HP www.njp.or.jp / 公式Twitter @newjapanphil / 公式Facebook www.facebook.com/newjapanphil

チケットのご案内

- 3/11(土) 上岡敏之／新日本フィルハーモニー交響楽団
S¥7,000／A¥6,000／B¥5,000／C¥4,000・売切
- 3/13(月) エリアフ・インバル／ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団
S¥11,000／A¥9,000／B¥7,000・売切／C¥5,000・売切
*トリオ割：同時に1公演につき3枚以上のお申込みで5%引き
*すみだ区割（区在住在勤）、すみだ学割あり
- 2公演セット券：S席のみ¥16,200

■ご予約・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212
トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

■前売り（1回券のみ）

e+（イープラス）eplus.jp

チケットぴあ 0570-02-9999 pia.jp [Pコード：311-774(3/11)・311-775(3/13)]

ローソンチケット 0570-084-003 l-tike.com [Lコード：32703]

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

新日本フィル・チケットボックス 03-5610-3815(3/11のみ)

〔CD情報〕 上岡敏之（指揮）／新日本フィルハーモニー交響楽団

●マーラー：交響曲第1番「巨人」 OVCL-00600 オクタヴィア・レコード ¥3,200（税別）



●トリフォニーホール託児サービスのご案内 ＊お申込み・お問合せ 0120-500-315[平日10:00—17:00]
小学館集英社プロダクション総合保育サービスHAS（ハズ）

新日本フィルハーモニー交響楽団特別演奏会

2017年3月12日(日)14:00開演／ウェスタ川越 大ホール
指揮：上岡敏之／マーラー：交響曲第6番イ短調「悲劇的」
[ご予約・お問合せ]

新日本フィル・チケットボックス 03-5610-3815

(月～金：10～18時、土：10～15時／日・祝休)

新日本フィルチケットオンライン www.njp.or.jp

主催・企画：すみだトリフォニーホール

招聘制作：(株) ジャパン・アーツ (3/13)

協力：(株) ヒラサ・オフィス (3/11)

(公財)新日本フィルハーモニー交響楽団(3/11)

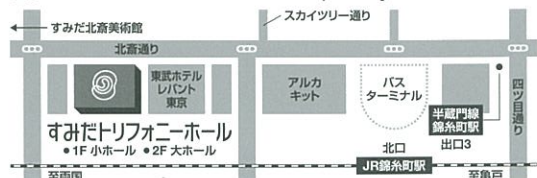
平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業

※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

@TriphonyHall

facebook.com/SumidaTriphonyHall



JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分／すみだ北斎美術館より徒歩10分

すみだトリフォニーホール